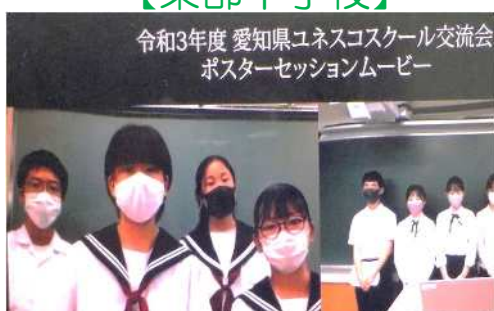


令和3年度 愛知県ユネスコスクール交流会

「愛知県ユネスコスクール交流会」では、4校が、地域の「ひと・こと・もの」を生かした実践を発表しました。また、高校生と交流し、お互いの取り組みやSDGsへの理解を深めました。各学校の実践の詳細は、愛知県教育委員会が作成・配布する「ユネスコスクール活動事例集（第9集）」に掲載されています。

ポスターセッションムービー

【東部中学校】



校区小学校および地域と連携して行っている TNP 活動。交通安全、530、あいさつなど、身近な取り組みだからこそ、多くの人に伝え、広げ、ずっと続けてほしい活動です。

【下条小学校】



地域とのふれあいを重視した食農教育と校区を流れる豊川の「霞堤」について発表しました。下条ならではの学びを伝える中で、地域の人たちへの感謝の思いがうかがえました。

会場で発表 【南稜中学校】



梅田川をきれいにするために、さまざまなアイデアを出し、自らの取り組みをふりかえりながら動いた生徒たち。この行動力と熱意は、後輩に引き継がれていくことでしょう。

オンライン 【鷹丘小学校】



社会科や総合的な学習の時間の学びと SDGs を結びつけ、調べ、体験し、考えたことを発表。SDGs につながる身近な問題に対して、できることを考えて行動する子どもの姿が印象的でした。